



社会的検査の党コロナ条例 自公など他会派が否決

●本ニュースでたびたび取り上げてきた党提案の新型コロナから県民を守る条例案は、8日の閉会日、自公などの会派によって否決されました。

新型コロナウイルス感染の最大の特徴は、①感染者が無症状であること、そして、②しかも強力な感染力を無症状者ももっていることです。ですから、オリンピック選手に対しては、早期発見するため熱など症状が無くても予防的に毎日PCR検査を課しているのです。

私たちが提案した条例案は、このような予防的検査が必要と認められた施設や地域で積極的に実施し、先手先手で感染者を発見・隔離し、拡大を抑え感染源を絶つに有効なことで、いわゆる「社会的検査」を推進する事に実行力を与えるもので、他会

派条例にはない画期的な内容を持つものでした。

県健康政策部長 社会的検査推進否定

●しかし、条例案への参考意見を求めら

れた^{いえやす}県健康政策部長は

「社会的検査」の推進に否定的な見解をのべ、10万人当たりの感染者数で全国ワースト10位前後の高感染率を許してきた県の従前からのやり方への反省が見られません。営業短縮などの経済活動と人流抑制を主とする県の対策は見直すべきです！

●私たちは、自案が否決されたのち、他会派が提出した条例案から当初懸念していた「県民の責務」という項目ではなく「県民の役割」としたことや、県の責務にも一定触れている事等を評価、賛同して他会派条例案を可決しました。

論戦を通してより理解が広がった予防的検査、社会的検査の推進とワクチンの加速化に向け、これからも力を尽くします。ご支援ください。



☆「消費税の緊急減税とインボイス制度導入延期」「子ども庁設置を求める」両意見書議案を党県議団が提出。
中根、米田の両議員が賛成討論に立ちました
が、残念ながら否決されました。

●土石流

熱海市で発生した土石流の映像は衝撃的でした。人工的な「盛り土」が一要因となっている可能性との報道。高知市内の谷にも残土を捨てている箇所もあり、総点検が必要です。



●6月県議会意見書議案

☆学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを進める意見書議案に対し

て、児童・生徒の個人認証情報を企業等が共有できるシステムを、歯止めもなく性急に推進する事になる、として、反対討論に立ちました。自公などの賛成で押し通されました。